

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 米子南高等学校

重点項目	地域連携重点校	提出日	令和5年4月17日
------	---------	-----	-----------

1 学校目標	
<p>教育目標「大胆な挑戦」</p> <p>○自らの成長を実感できる学校づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 意欲を育てる＝「主体性を育てる」「やる気を引き出す」 2 成長を支える＝「人との出会い、新たなことへの挑戦を促す」 3 変化を求める＝「現状に満足しない」「アンテナを高く張る」 	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<p>1 基本的な生活習慣の確立と社会性の涵養を目指す。</p> <p>2 キャリア教育の充実を図り、地域社会の発展に寄与できる人材を育成する。</p> <p>3 校外における教育活動、地元の企業・行政・住民と連携した課題研究、外部講師による講話などを積極的にを行い、地域貢献の意識を高め、同時に地元愛を育む。</p> <p>4 学校運営協議会と連携し、商業学科・家庭学科の特色化・魅力化に努める。</p> <p>5 積極的な情報発信により教育活動の「見える化」を行う。</p> <p><数値目標></p> <p>○インターンシップ（2年生全員による職場体験）終了後のアンケートより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「進路決定に役立ったか」 → 「役立ったと思う」80%以上 ・「学校生活に影響を与えたか」 → 「影響を与えたと思う」80%以上 ・「就労に対する意識が高まったか」 → 「意識が高まったと思う」80%以上 <p>○課題研究（商業学科3年生）終了後のアンケートより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域振興学「中心市街地活性化事業」 → 「達成感がある」70%以上 <p>○中海アダプトプログラム（家庭クラブ主催、年3回実施、全校生徒対象）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目（6月頃）参加生徒・教員数 → 100人以上 ・2回目（9月頃）参加生徒・教員数 → 	<p>インターンシップは感染予防対策を行いながらの実施となったが、2年生全生徒が参加することができた。地域との触れ合いのなかでキャリアに対する意識を深めていくことのできる事業であり、地元企業との連携を深め、さらに有意義なものとした。</p> <p><数値結果></p> <ul style="list-style-type: none"> →81.3% →82.7% →80% →85.7% →114人

・ 3回目（11月頃）参加生徒・教員数	30人以上 → 20人以上	→52人 →30人
---------------------	---------------------	------------------

3 実施事業

【高等学校課事業】

○外部人材活用事業

商業学科

- ・地域の現状と課題（地域の現状、地域の課題、地域貢献による活性化）

家庭科

- ・ピンワーク講習（ピンワークに関する講義・実習）

○ふるさとキャリア教育充実事業

- ・「先輩に学ぶ」：本校を卒業した学生や社会人を招き講演会を行った。
- ・「地域や社会に求められる人材像」：地元企業の社長を招き、職業観・勤労観を育成する講演会を行った。

【独自事業】

①人間力向上事業

- ・地域との交流を通じた人財の育成（中心市街地の活性化、幼児とのふれあい交流）
- ・環境学習推進プロジェクト（地域の環境施設見学、地元小学校との交流、中海アダプトプログラム）

②スペシャリスト養成事業

- ・コンテンツ制作を通して産業を支える人財の育成（外部講師からの講義・演習）
- ・地元から学ぶ企業会計・経営活動（地元企業の財務情報や経営活動から学ぶ経営分析）

③キャリア教育支援事業

- ・インターンシップ（職場体験（インターンシップ）、地域とつながる課題研究）

④グローバル人財育成推進事業

- ・米南地域おこしプロジェクト（地元開催イベントでの販売実習、県西部地区を中心とした活性化策立案）

4 総合所見（成果・評価）

感染予防対策のため実施できなかった事業もあるが、昨年度より地域との連携も増え活発に活動することができた。また、今年度発足したe-スポーツ部が高齢者施設等様々な場所に出向きイベントを開催し、年齢を超えて地域の方々との交流を深めた。

来年度は、生徒が自ら企画・立案し仲間と協働し主体的に取り組んでいけるような学習環境を作り上げていき、様々な形で地域と繋がっていきたい。

※枚数任意